

結核

- 咳嗽、喀痰、血痰、発熱、易疲労感などの症状及び徴候を注意深く観察してください。
- 結核が疑われる場合、速やかに呼吸器専門医、放射線診断専門医、感染症専門医などと連携し適切な処置を行ってください。

発現例数(発現割合)

単独投与の臨床試験における「結核」の発現は5,707例中4例(0.1%)でした。

各臨床試験*における発現状況は臨床試験情報の項(P.46~127)をご参照ください。

海外[医薬品リスク管理計画(RMP)の作成又は改訂を評価した2019年3月25日時点]において、結核が関連事象も含めて12例(重篤:12例)報告されています。

*本資料掲載の臨床試験はP.5参照

本剤の処置

- 異常が認められた場合には投与を中止するなど、適切な処置を行ってください。

補足

本事象に関連する以下の項目については付録のP.152をご参照ください。

- ▶ 臨床症状・検査所見
- ▶ ガイドライン等による対処法
 - ・結核に対する一般的な対処法

筋炎・
横紋筋融解症

重症筋無力症

心筋炎

脳炎・髄膜炎・
脊髄炎

重篤な血液障害

重度の胃炎

ぶどう膜炎

血管炎

血球貪食
症候群

結核

Infusion
reaction